

シャワートイレ RS シリーズ

CW-RS3型 CW-RS2型 CW-RS1型
CW-RS30型 CW-RS20型 CW-RS10型

施工業者さまへ
 お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。
 保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。
 なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に張り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。
 お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。
 ※所有者登録の際、便フタ裏または製品本体に張ってあるシールが必要となります。決してはがさないでください。
 ※定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

安全のために守ってください！

シャワートイレを安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

- 用語の説明**
- 警告** . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。
- 注意** . . . 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

警告

施工説明書に従い、正しく施工してください。
 ※感電・火災・ケガの原因になります。 **指示実行**

※漏水し、室内浸水の原因になります。

修理技術者以外の方は、分解したり修理・改造は行わないでください。
 ※感電・火災・ケガの原因になります。 **分解禁止**

本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。
 ※感電・火災の恐れがあります。 **水かけ禁止**

確実にアース線をアースターミナルに接続してください。
 ※接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
 ※コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。 **アース接続**

バスルームなど湿気の多い場所には設置しないでください。
 ※感電・火災の原因となります。 **水場使用禁止**

ガタついてるコンセントやアースターミナル付接地極付以外のコンセントは使用しないでください。
 ※感電・火災の原因になります。 **禁止**

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
 ※電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。
 上水道以外に接続しないでください。
 ※機械内部の腐食により感電・火災および皮膚の炎症の原因となります。 **禁止**

ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
 ※感電の原因になります。 **ぬれ手禁止**

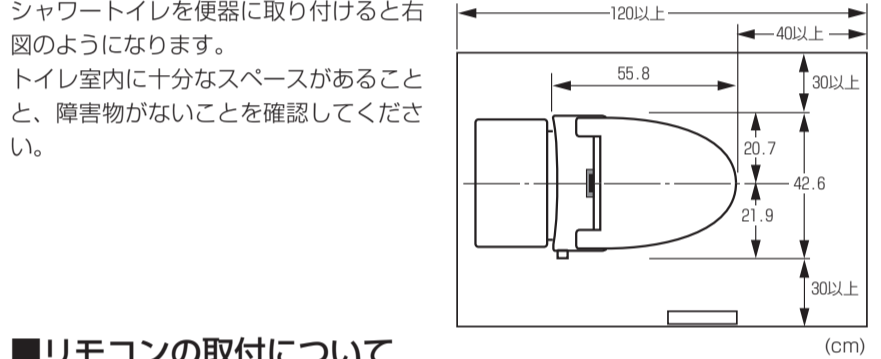
●交流100V以外では使用しないでください。
 ●タコ足配線はしないでください。
 ※火災の原因になります。 **禁止**

電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。
 ※感電・火災の原因になります。 **指示実行**

電源と給水の確認

- 電源コンセントは？**
 配線工事およびコンセントの設置は、下記に準じた工事を行ってください。配線工事は電気工事店にご依頼ください。
- コンセントはAC100V、最大定格309Wに適したアースターミナル付接地極付コンセントを使用してください。
 すでにアースターミナルのない接地極付コンセントや接地極付ではないコンセントが施設されている場合は、アースターミナル付接地極付コンセントに変更してください。また、ヒーター付便器や他の電化製品と併用する場合は、数に応じたコンセントを設置してください。
 - 必ずアースターミナルは、D種接地工事に準じた工事を行ってください。
 アースターミナルには、確実にシャワートイレのアース線を接続してください。
 - コンセントはコード類の届く範囲で、床面より高く水のかからない位置に設置してください。電源コードおよびアース線の長さは1.0mです。
 ※施工が完了するまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。故障する恐れがあります。
- 使用する水は？**
- 給水は必ず上水道に接続してください。
 中水道や工業用水、井戸水などを使用すると電気部品や機械部品の耐久性が低下して、事故の原因となります。
 - 給水圧力は0.06MPa(0.6kgf/cm²)～0.74MPa(7.5kgf/cm²)でご使用ください。
 上記範囲外の場合は、お求めの取扱店にご相談ください。
 - 給水は便器の止水栓から取ってください。
 フラッシュバルブ式便器へ取り付ける場合や給水を別に取り出す場合、便器の止水栓が中水道に接続している場合などは、お求めの取扱店にご相談ください。

トイレ室内の確認



- リモコンの取付について**
- リモコンはできる限り、リモコン受光部側の壁に取り付けてください。(受光部が本体の左側にあります。) 必要と、反対側の壁に取り付ける場合は、必ず取付位置で受信することを確認してから行ってください。
- また、リモコン受光部の壁が洗面台などで便器から距離がある場合は、受信しない場合があります。このようなときは便器中心から130cm以内に信号反射用のスクリーンを設置してください。スクリーンの寸法は高さ110cm以上、幅は受光部からリモコン設置位置までの[W]を確保してください。(ただし、壁の仕上げ・色などの条件により多少異なりますのでご注意ください。)
-

便器の確認

- 1. 便器の大きさを測ってください。**
 下図の寸法以外の便器では、シャワートイレが取り付けられない場合があります。下図に示す寸法を確かめてください。
-
- 2. 隅付タンク式便器は、①か②(③か④)のどちらかを満足していますか？**
 隅付タンク式の場合、右図のA(A')・B寸法が①か②(③か④)のどちらかの条件を満たしていれば取付可能です。
 ① A: 17cm以上
 ② A: 13cm以上かつB: 17cm以上
 ③ A': 17cm以上
 ④ A': 13cm以上かつB: 17cm以上
 ①と②(③と④)の両方とも満たさない場合は、タンクの位置を上げる等の処置をお願いいたします。(お求めの取扱店にご相談ください。)
-

- 3. 本体給水ホースの使用可能な条件**
 同梱の本体給水ホースは95cmですが、分岐金具から本体の給水ソケットまでの距離は80cm以内が適切です。(右図参照)
 ※80cm以上の距離がある場合は、別売の本体給水ホースCWA-27(1.35m)またはCWA-28(2m)を手配してください。
-

- 4. タンク給水ホースの使用可能な条件**
 止水栓とタンクの間の距離によって使用できない場合があります。
- 右図の距離が15cm～30cmの場合：
 タンク給水ホースが使用できます。
 - 右図の距離が15cm～30cm以外の場合：
 タンク給水ホースが使用できません。
 ※既存のサブライ管を切断するか、長い場合は市販の蛇腹管をご使用ください。
 裏面の【補足1】をご覧ください。
-

快適機能の設定はしないでください！

- 快適機能の設定はお客さまにおまかせください。**
 シャワートイレの快適機能は、お客様の好みで設定する必要があります。したがってできる限り、お客さままで設定するようお願いいたします。もし、施工業者様で設定する場合は、お客さまに設定した機能とその機能説明をお願いいたします。
 特に節電機能は、お客様が意識していないと、便座や温水が冷たく感じる場合があります。
- 快適機能とは**
 シャワートイレを快適に使用していただくためのお客さまのための機能です。代表的な快適機能には、
- 便座・温水の温度*
 - 脱臭機能
 - 節電機能
 - 便座ヒーターオートOFF
 - 乾燥「低」始動
 - などがあります。
- * : 試運転確認後、必ず「低」に戻してください。 ※機種によっては、一部機能がない場合があります。

部品の確認 (梱包内容を確認してください。)

シャワートイレ本体、リモコン本体、ブラケット、説明書セット、リモコン本体、電池(2本)、木ねじ、プラスチックアンカー、パッキン(青:厚さ2mm)、スリッパフッシャー※2、パッキン(黒:厚さ4mm)※2、ストレーナー(網)※3、クリップ、本体給水ホース(全長95cm)、分岐金具、パッキン(黒:厚さ2mm)、専用工具※5、スリッパ部、マイナスドライバー部、スリッパ部で締め付け、スリッパ部で締め付け、マイナスドライバー部で開閉

■リモコン用
 電池(2本) 木ねじ プラスチックアンカー

■パッキン
 パッキン(青:厚さ2mm) スリッパフッシャー※2
 パッキン(黒:厚さ4mm)※2 ストレーナー(網)※3

■専用工具
 専用工具※5 スリッパ部
 マイナスドライバー部

※1: 本体取付ボルトから角パッキンを外さないでください。
 ※2: 既存のサブライ管を切断した場合に使用します。
 ※3: TOTO社製便器、またはINAX製ストレーナー付便器に使用します。詳しくは同梱の説明書をご覧ください。
 ※4: RS3,RS2,RS1のみ。この施工説明書とともに施工ビデオをご覧ください。正しく本商品をお取り付けください。
 ※5: 形状が異なる場合があります。専用工具は、シャワートイレの取付けだけに使用してください。
 ※シャワートイレ以外に使用すると、対象物を破損させる恐れがあります。

各部のなまえ

リモコン、本体裏面(脱臭付の場合)、タンク給水ホース、タンク、分岐金具、止水栓、本体給水ホース、電源プラグ(漏電保護機能付)、アース線、注意事項、便フタ、品番シール、着座センサー、ノズル(ビデ用)、ノズル(おしり用)、便座、便器

■別売品
 止水栓付分岐栓(CF-006)
 ※止水栓付を使用する場合は別途こちらを手配してください。

固定ビス(H20-64B)
 ※本体着脱プレートを本体に固定して、スライド着脱機能を無効にできます。
 ※便座昇降装置おしりフト(CWA-40)とセットする場合、おしりフトに同梱されています。

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

お客さまへ

※本説明書以外の取付方法で、お取り付けされた際の故障・不具合につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。また、商品または商品の取付けに関するご相談は、お買求めの取扱店にご相談ください。なお、(株)INAXメンテナンスでも商品の取付けを承っておりますが、その場合は別途料金が必要となります。

注意

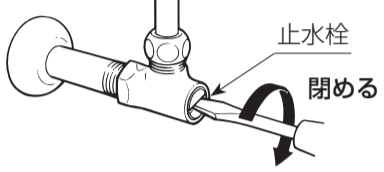
- この施工説明書をよく読み、正しく本商品をお取り付けください。
- 施工時、商品本体を傷つける可能性がある物(金属類、時計等)は、身体から外して施工を行ってください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。

1 分岐金具の取付け

注意 1 参照

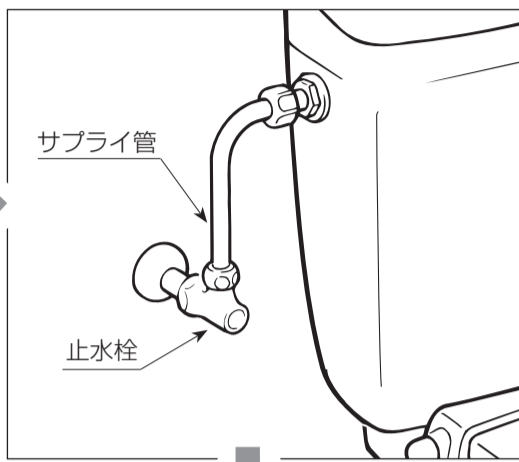
1. 止水栓を閉めます。

便器の止水栓を⊖ドライバー等でいっばいに閉め、給水を止めます。
※その後、タンクレバーを操作して給水されない(タンク内で水音がしない)ことを確認してください。
※止水栓は調整されているので、元の位置(どのくらい回したか)を覚えておいてください。



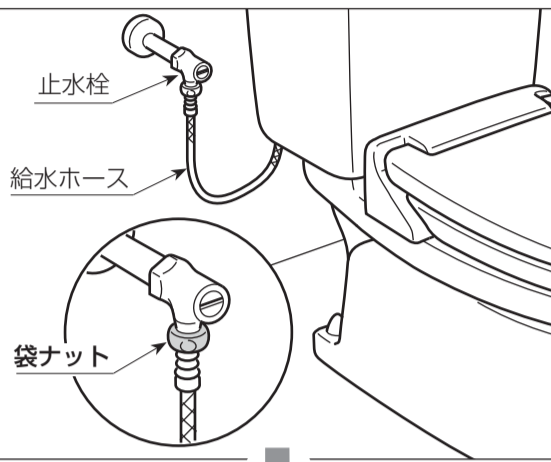
2. 給水の確認を行います。 止水栓と便器(タンク)の接続方式を確認してください。給水方式によって分岐金具の取付け方法が異なります。

■止水栓と便器(タンク)がサブライ管で接続されている場合

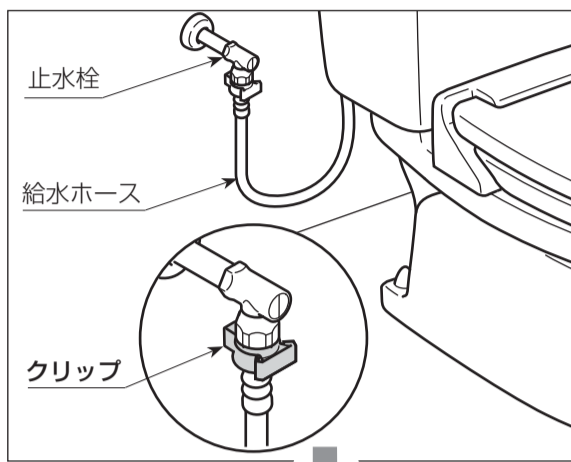


■止水栓と便器(タンク)が給水ホースで接続されている場合

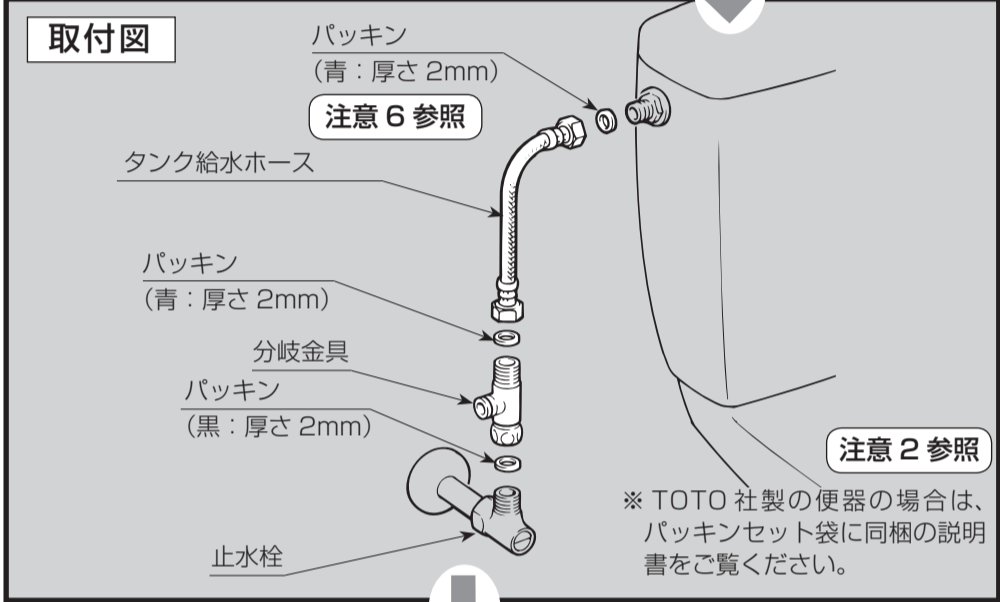
●給水ホースを袋ナットで固定



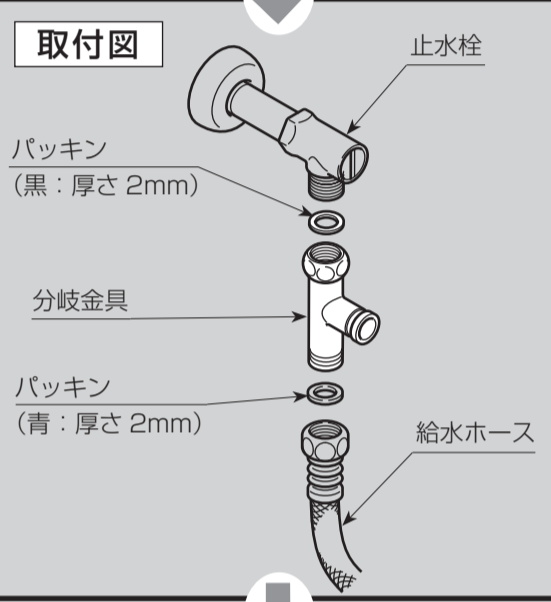
●給水ホースをクリップで固定



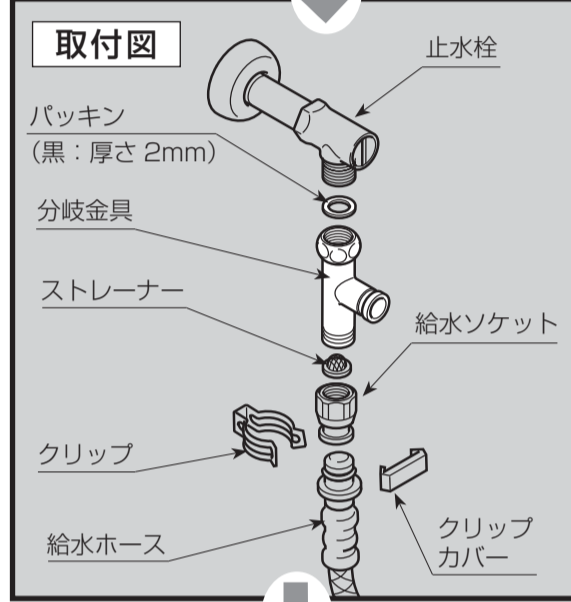
取付図



取付図

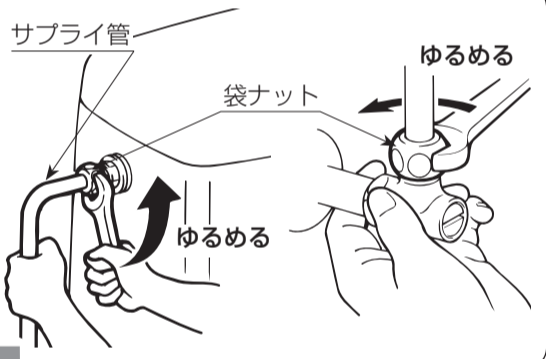


取付図



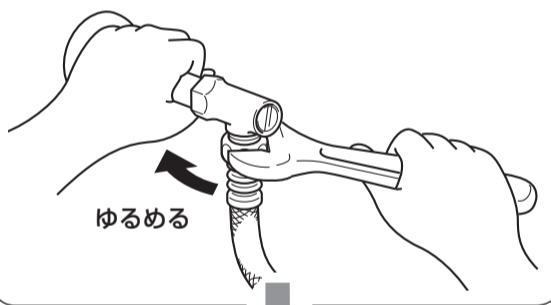
3. サブライ管を外します。

(1) タンク側と止水栓側の袋ナットをゆるめてサブライ管を外します。
※このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



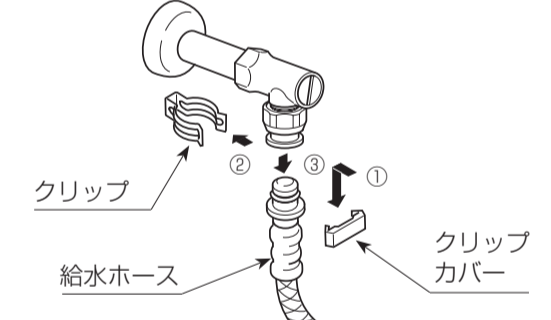
3. 給水ホースを外します。

(1) 止水栓側の袋ナットをゆるめます。
※このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



3. 給水ホースと給水ソケットを外します。

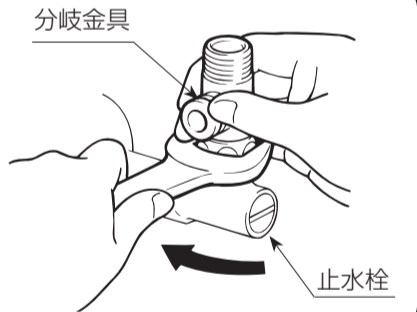
(1) 止水栓からクリップカバーとクリップを外してホースを抜きます。
※このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



4. 分岐金具を取り付けます。

パッキン(黒:厚さ2mm)を入れて分岐金具を止水栓に取り付けます。
(締付トルク 10~15N・m {100~150kgf・cm})

サブライ管を切断して取り付ける場合は、裏面の「補足1」をご覧ください。



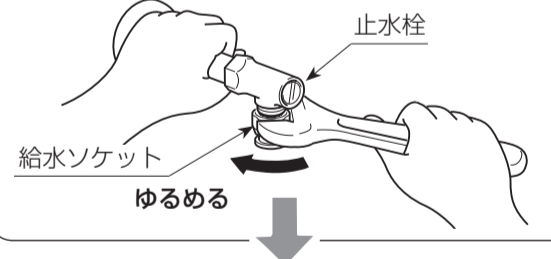
4. 分岐金具を取り付けます。

パッキン(黒:厚さ2mm)を入れて分岐金具を止水栓に取り付けます。
(締付トルク 10~15N・m {100~150kgf・cm})



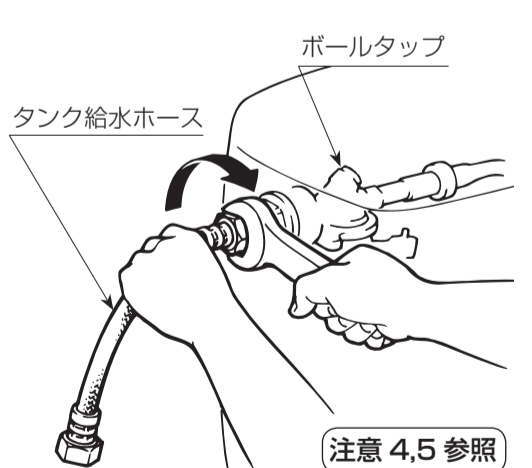
4. 分岐金具を取り付けます。

(左記参照)

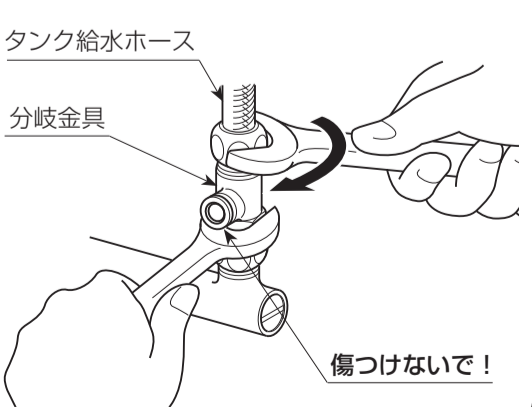


5. タンク給水ホースを取り付けます。

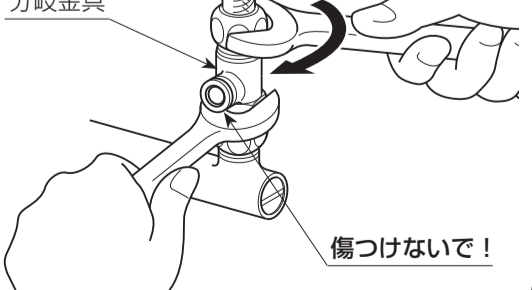
(1) パッキン(青:厚さ2mm)を入れてタンク給水ホースをボールタップに取り付けます。タンク給水ホースがねじれないように手で軽く押えて袋ナットを締め付けてください。



(2) パッキン(青:厚さ2mm)を入れてタンク給水ホースを分岐金具に取り付けます。

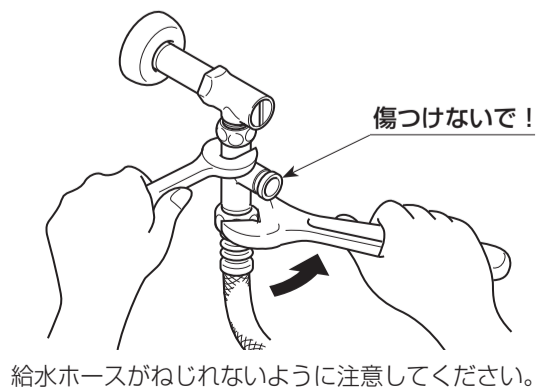


(3) 分岐金具の六角部にスパナまたはモンキーを当て、分岐金具を固定し、タンク給水ホースの袋ナットをスパナ等でしっかり締め付けます。



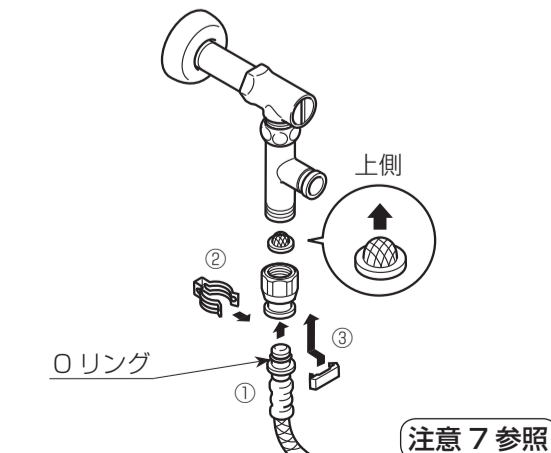
5. 給水ホースを取り付けます。

(1) パッキン(青:厚さ2mm)を入れてタンク給水ホースを分岐金具に取り付けます。
(2) 分岐金具の六角部にスパナまたはモンキーを当て、分岐金具を固定し、タンク給水ホースの袋ナットをスパナ等でしっかり締め付けます。



5. 給水ホースと給水ソケットを取り付けます。

(1) ストレーナーを入れて給水ソケットを分岐金具に取り付けます。
(2) 給水ホースを給水ソケットに差し込み、クリップとクリップカバーで固定します。



注意 1

●付属の分岐金具または別売のCF-006(止水栓付)を使用してください。
※上記以外の分岐金具では漏水の原因になります。

注意 2

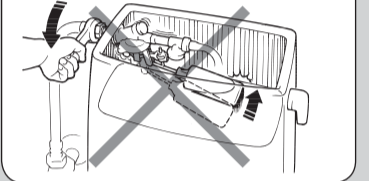
●各部品の向きと順序を間違えないでください。
※間違えると漏水します。
●既存のサブライ管に割リングが付いていない場合は、タンク給水ホースをご使用ください。
※漏水の原因になります。

注意 3

●止水栓やサブライ管に無理な力をかけないでください。
※破損して漏水する恐れがあります。

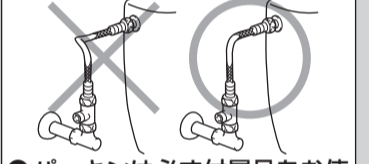
注意 4

●ボールタップが回転しないように固定しながら袋ナットを締めてください。
※ボールタップが回転すると浮玉がタンク側壁と干渉して止水不良の原因になります。



注意 5

●タンク給水ホースは鋭角に曲げないでください。
※破損して漏水する恐れがあります。



注意 6

●パッキンは必ず付属品をお使いください。
※漏水する恐れがあります。

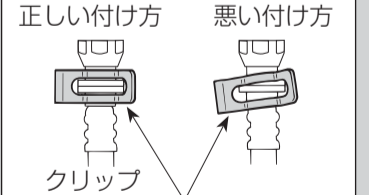
注意 7

●INAX製ストレーナー付便器の場合は、ストレーナー付パッキンに交換してください。
このとき同梱の青パッキン(厚さ2mm)は取り付けしないでください。



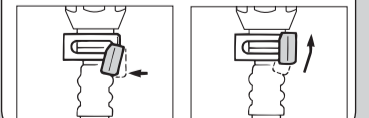
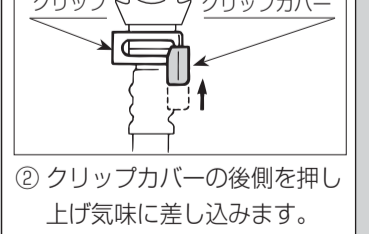
注意 7

●Oリングを傷つけないように注意してください。
※Oリングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。
●クリップは確実ににはめ込んでください。
※きちんとはまっていないと漏水します。

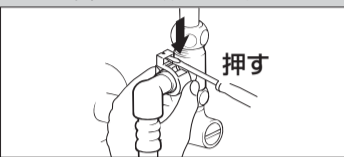


正しい付け方 悪い付け方

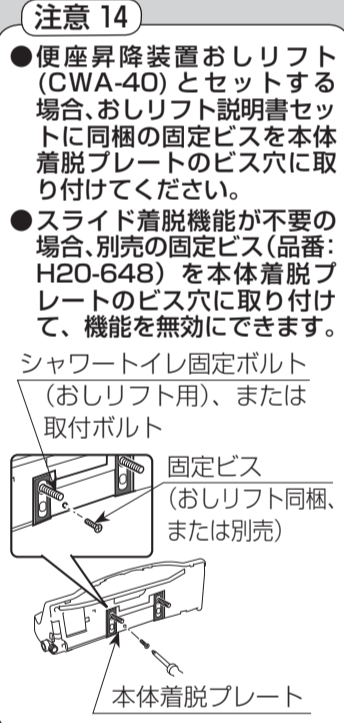
●クリップカバーは下記のようににはめ込んでください。



- 注意 8**
- 電源プラグに衝撃をかけたり、便器内に水没させないように注意してください。
- 注意 9**
- Oリングを傷つけないように注意してください。
※Oリングが切れたり、傷ついたりすると漏水します。
- 注意 10**
- クリップは確実にはめ込んでください。
※きちんとはまっていないと漏水します。
- 注意 11**
- クリップの先端がカチッと音がするまではめ込んでください。
※きちんとはまっていないと漏水します。
- 参考 1**
- クリップを外す際は、クリップを指で押さえ、マイナスドライバーを差し込んだ後、図のように下方向に押すようにして外してください。

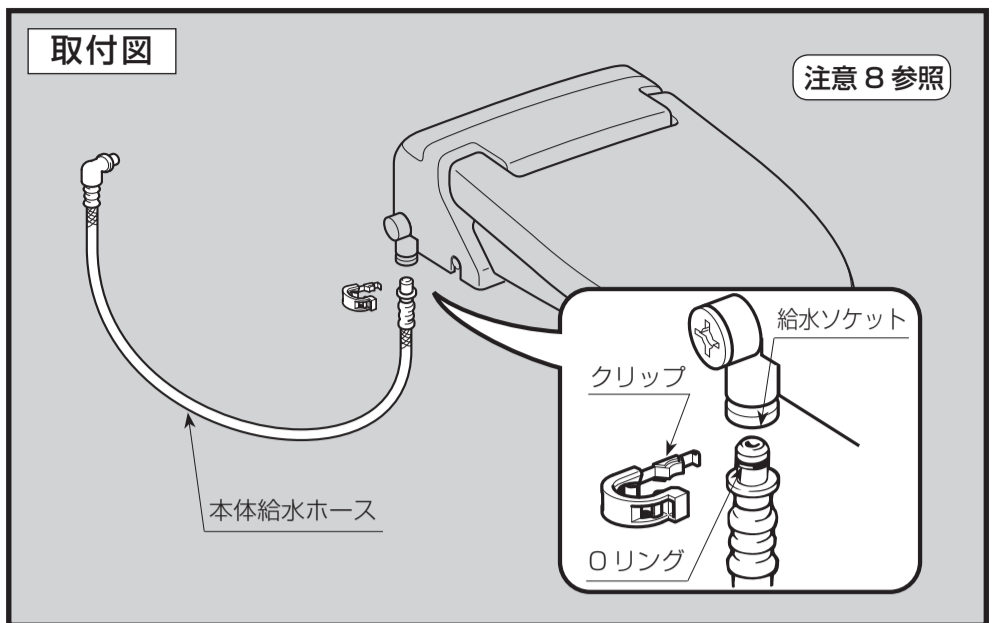


- 注意 12**
- 本体を取付ける時は、必ず付属の部品をお使いください。
- 参考 2**
- 便器によっては、便座の取外し方が説明と異なる場合があります。
 - 取り外した便座は、引っ越しのときなどを考え、保存しておくことをおすすめします。
- 注意 13**
- 本体取付ボルトが長すぎる場合は切欠き部より切断してください。
- 注意 14**
- 便座昇降装置おしりフト(CWA-40)とセットする場合は、おしりフト説明書セットに同梱の固定ビスを本体着脱プレートのビス穴に取り付けてください。
 - スライド着脱機能が不要の場合、別売の固定ビス(品番: H20-648)を本体着脱プレートのビス穴に取り付けて、機能を無効にできます。



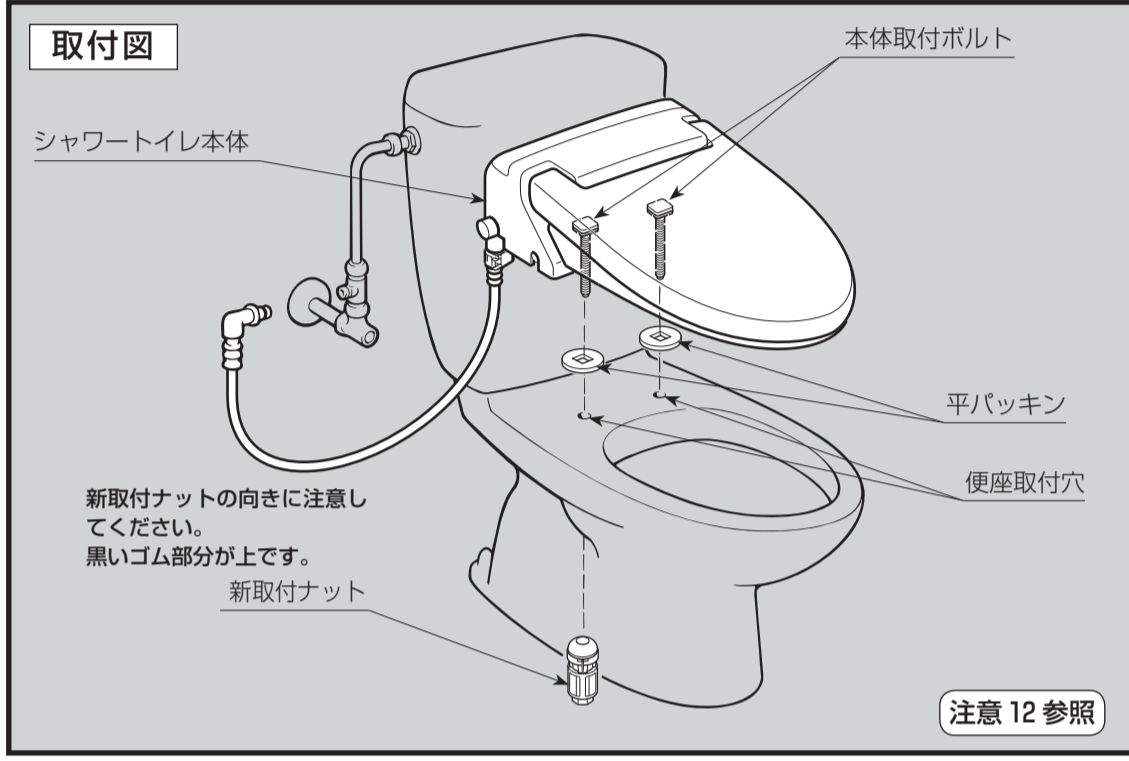
- 注意 15**
- 新取付ナットは、黒いゴム部分が上です。矢印を上に向けて組み付けてください。
- 注意 16**
- ナットの締め付けは片利きのないように左右くりかえし、少しずつ行ってください。
※ズレの原因になります。
 - ナットの締め付け後本体が確実に固定されているか確認してください。本体がズれる場合は、締め不足ですので、再度増し締めをしてください。
- 注意 17**
- タンクへの給水が止まらなくなったり、給水しなくなった場合は、浮玉がタンク内側の壁に当たっていないことを確認してください。浮玉がタンク内側の壁に当たっている場合は、以下の要領で直してください。
- 注意 18**
- 止水栓を開けたままストレーナーを外さないでください。
※ストレーナー部から漏水します。

2 本体給水ホースの取付け (本体側)



- (1) 給水ホース先端から保護カバーを外します。
(2) 本体給水ホースを給水ソケットに差し込みます。
- (3) クリップを本体給水ホースと給水ソケットに差し込みます。
※クリップに方向性はありません。
- (4) クリップを折り曲げ、本体給水ホースと給水ソケットを確実に固定します。
取付け後にクリップを回し、確実にはまっていることを確認してください。

3 シャワートイレ本体の取付け

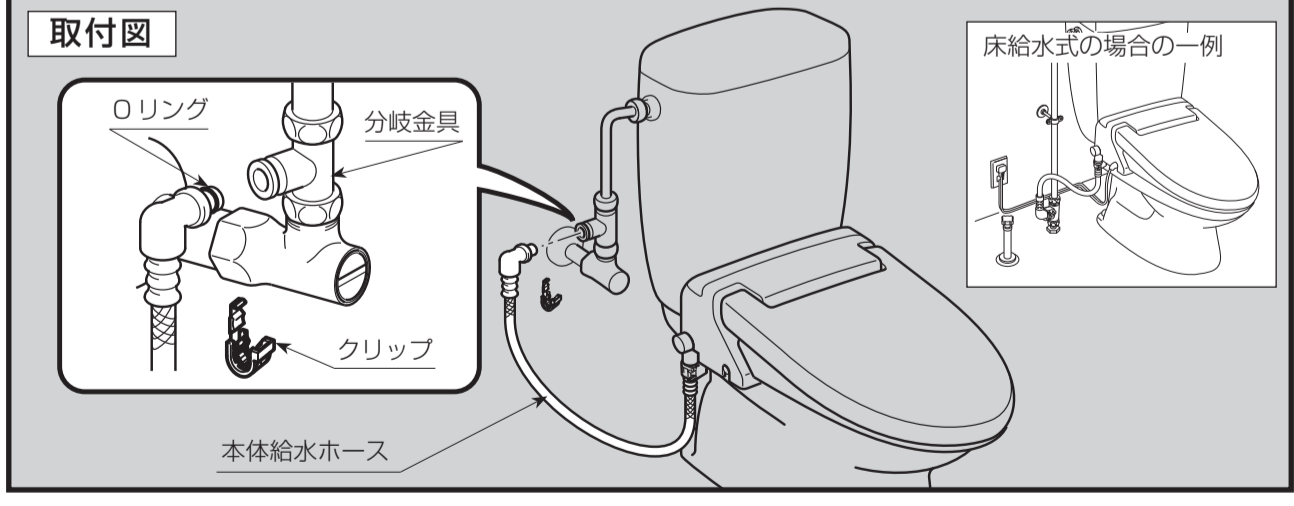


- 1. 既存の便座を取り外します。**
- (1) 便器裏側の便座取付ボルトのナット、スリップワッシャー、半球パッキンを外します。
(2) 便座を持ち上げて便座取付ボルトごと取り外します。
- 2. シャワートイレ本体を便器に設置します。**
- (1) 本体取付ボルトから新取付ナットを取り外します。
(2) 本体取付ボルトを本体底部のボルト穴にはめ込みます。この時、角パッキンもボルト穴に確実にはめ込みます。

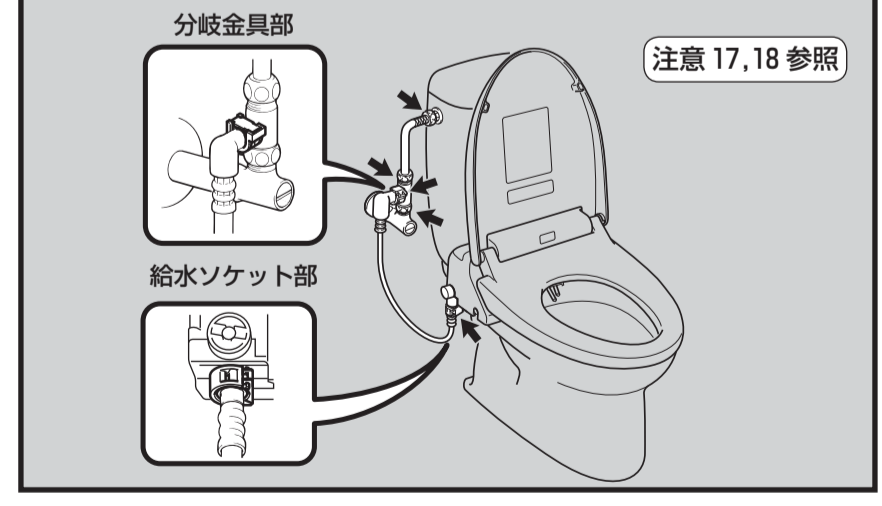
3. シャワートイレ本体を固定します。

- 〈新取付ナットの場合〉**
- (1) 新取付ナットが開いていることを確認します。もし、開いていない場合は、下図のように引っぱって開きます。
- (2) 新取付ナットを本体取付ボルトに通します。
- (3) 新取付ナットを上押し込み、閉じさせます。
- (4) 新取付ナットを手で回して、しっかり締め付けます。
(締めトルク 2.0 ~ 2.5 N・m (20 ~ 25 kgf・cm))
- 〈六角ナットの場合〉**
- 本体取付ボルトに半球パッキンとスリップワッシャーを通してナットを取り付け、本体がガタつかないようにナット締め付ゴムで確実に固定します。
- ナット類や本体取付ボルトは樹脂製です。必ず手で締め付けてください。
●半球パッキンは、球面部が陶器側ですので組付方向に注意してください。
- (3) 平パッキンが外れた場合は、本体取付ボルトにはめ込みます。
(4) 便器の便座取付穴に本体取付ボルトを差し込んで本体を設置します。
(5) 便座の先端が便器の先端より 5 ~ 20mm 出るように前後の位置調節をします。

4 本体給水ホースの取付け (分岐金具側)



5 通水の確認



- (1) 給水ホース先端の保護カバーを外し、本体給水ホースを分岐金具に差し込みます。
- (2) 本体側と同様にクリップを取り付け、クリップを回して確実にはまっていることを確認してください。
- (1) 止水栓を元の位置まで反時計回りに回して開き、タンクおよびシャワートイレに給水します。
- (2) タンクの洗浄ハンドルを操作して各接続部の漏水がないことを確認します。
※漏水する場合は、ナット類を締め直すか、再組付けしてください。
- (3) タンクに水がたまり、そのあと確実に水が止まることを確認します。
※タンクに水がたまらなかつたり、または水が止まらない場合は、ボールタップと浮玉を確認してください。

6 電源の接続

1. アース線を接続します。 **警告**
2. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

注意 19 参照

確実にアース線をアースターミナルに接続してください。
※ 接続しなかったり、不適切な接続では、感電・火災の原因になります。
※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。



3. 電源が入っていることを確認します。
(注意：確認後は速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。)

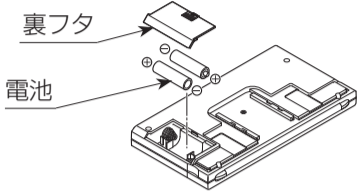
- (1) 本体の電源ランプが点灯することを確認します。
- (2) 確認後は温水タンクの空だき防止のため、速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。(電源投入後 40 秒以内を目安にしてください。)

注意 19

●必ず便器への取付けが終了してから電源を入れてください。

7 リモコンの位置決め

- (1) リモコンの裏フタを開け、付属の電池 (単三 2 本) を入れます。



注意 20 参照

- (2) 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- (3) リモコンを取り付けようとする位置に置き、実際に便座に座って止スイッチを押します。このとき、本体表示部の電源ランプが 1 回点滅することを確認します。



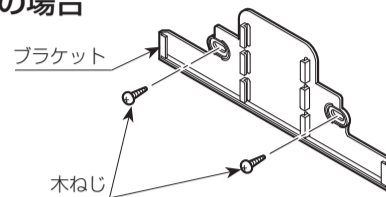
注意 21 参照

8 リモコンの取付け

- (1) ブラケットを壁の材質に合わせた施工方法で、取付位置に取り付けます。

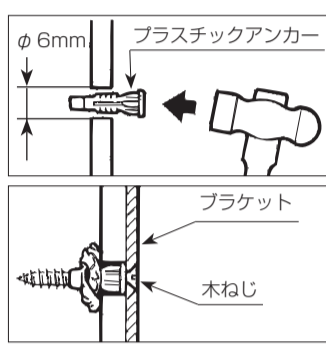
●厚みが 5mm 以上の合板壁の場合

ブラケットを付属の木ねじでしっかりと固定します。



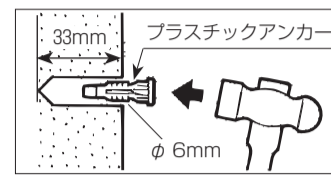
●厚みが 5mm 以下の合板壁および石膏ボード壁の場合

- ① 直径 6mm の下穴をあけます。(石膏ボードは 5mm)
- ② ハンマー等を使って、付属のプラスチックアンカーを軽く打ち込みます。
- ③ ブラケットを木ねじでしっかりと固定します。
締め付けていくとはじめは堅く、いったんゆるくなると再び堅くなります。

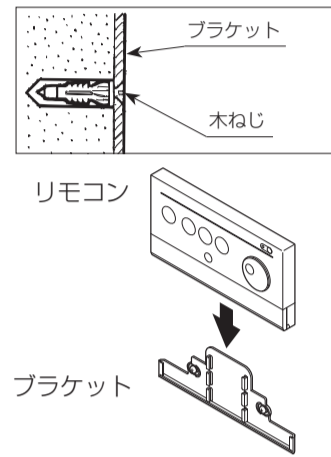


●コンクリートの場合

- ① 直径 6mm、深さ約 33mm の下穴をあけます。
- ② ハンマー等を使って、付属のプラスチックアンカーを軽く打ち込みます。
- ③ ブラケットを木ねじでしっかりと固定します。

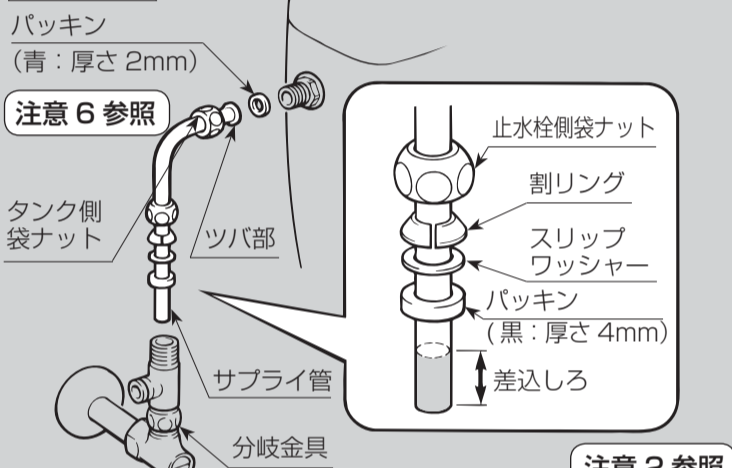


- (2) リモコンをブラケットの上に合わせて、下へ押し下げてリモコンを取り付けます。



【補足 1】 サプライ管を取り付ける場合

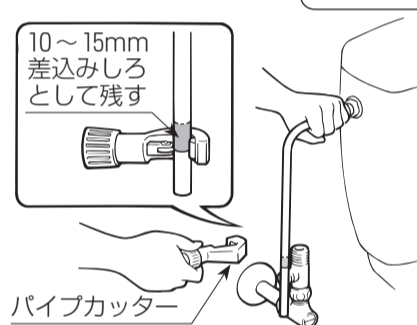
取付図



※ TOTO 社製の便器の場合は、パッキンセット袋に同梱の説明書をご覧ください。

1. サプライ管を切断します。

- (1) サプライ管の端 (ツバのない側) を現物合わせで、分岐金具の差込しろとして 10~15mm 残るように印を付けます。
- (2) パイプカッターを使ってサプライ管を切断します。



注意 22 参照

2. サプライ管を取り付けます。

注意 4,6 参照

- (1) 切断したサプライ管にタンク側の袋ナット、分岐金具側の袋ナット、割リング、スリップワッシャー、パッキン (黒：厚さ 4mm) を通して分岐金具に差し込みます。(左記の取付図参照)
- (2) ボールタップとサプライ管の間にパッキン (青：厚さ 2mm) をはさみ、タンク側の袋ナットをはじめに手でいっぱい締め付けてから工具で増締めします。
- (3) 分岐金具の袋ナットは、はじめに手でいっぱい締め付けてから工具で増締めします。(締付トルク 10~15N・m (100~150kgf・cm))
増締め時、分岐金具の六角部にスパナまたはモンキーを当てて、分岐金具を固定しながら袋ナットを締め付けます。



注意 23 参照

試運転 (施工が終わったら、次の要領で試運転を行います。)

1. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

2. おしり洗浄を確認してください。

- (1) 着座センサーが紙で覆われていることを確認してください。
※ 紙が貼っていない場合は、着座センサーを紙や布で覆ってください。
着座センサー窓を覆っていた紙は、確認後、必ず取り去ってください。
- (2) おしりスイッチを押します。
- (3) ノズルが伸びてきたら先端に手をかざしてシャワーを受け止めてください。
ノズルから水が出るまで 1~2 分ほどかかります。(洗浄強さを最強にしておくとも早くできます。)
- (4) シャワーを止めるときは、止スイッチを押してください。



3. ビデ洗浄を確認してください。

おしり洗浄と同じようにビデスイッチを押します。ビデ用ノズルが伸びて、おしり洗浄よりも約 25mm 前にシャワーが噴出します。

止

●おしり洗浄 ●ビデ洗浄 ●乾燥の動作が止まります。

マッサージ

おしり洗浄に強弱をつけてマッサージ洗浄を行います。

電源

シャワートイレ本体の電源を入/切します。

節電

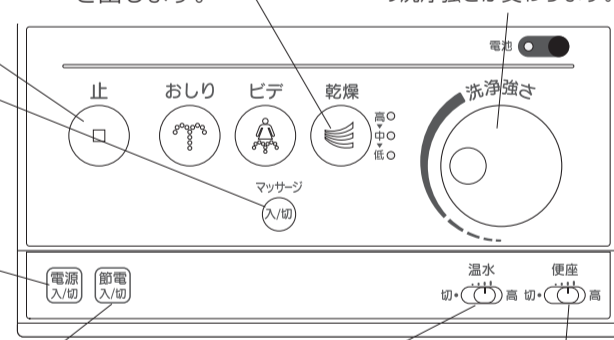
便座と温水のヒーターを切って節電します。

乾燥 (乾燥付の場合)

便座後部より温風が吹き出します。

洗浄強さダイヤル

●おしり洗浄 ●ビデ洗浄時の洗浄強さが変わります。



温水

シャワーが温かくなります。

便座

便座が暖かくなります。

参考 3 参照

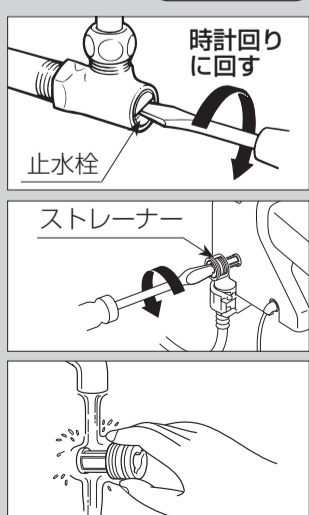
施工業者さまへ

お客さまに必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。
保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客さまにお渡しください。
なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に張り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。
お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。
※所有者登録の際、便フタ裏または製品本体に張ってあるシールが必要となります。決してはがさないでください。
※定期的に点検が必要な部品があることをお客さまに必ずお伝えください。

水の出方が悪い場合は、ストレーナーを掃除してください。

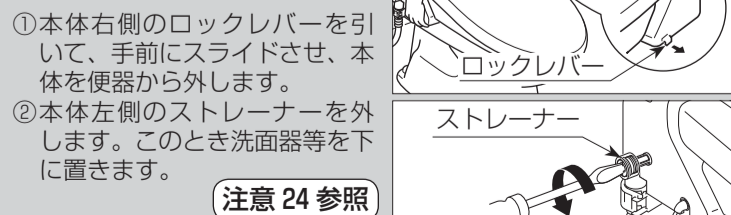
注意 24 参照

- (1) 止水栓を時計回りに回して閉めます。
止水栓は調節されているので、元の位置 (どのくらい回したか) を覚えておいてください。
- (2) 本体左側のストレーナーを外します。
このとき、洗面器等を下に置きます。
- (3) ストレーナーを掃除します。
- (4) ストレーナーをしっかりと締め付けます。
- (5) 止水栓を元の位置まで開きます。

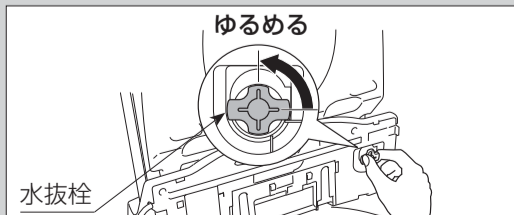


お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。

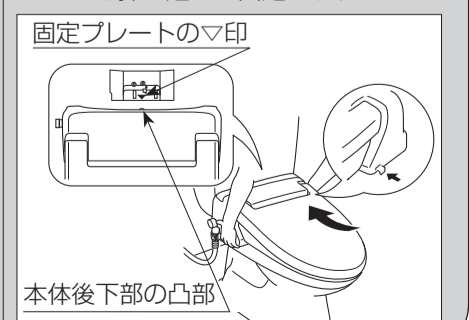
- (1) 止水栓を時計回りに回して閉め、タンクへの給水を止めます。
(寒冷地用排水式は、室内の水抜き栓を操作します。)
- (2) タンクの洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜きます。
- (3) 電源プラグをコンセントから抜きます。
- (4) 温水タンクと本体給水ホースから水を抜きます。



- ③ 本体を左側に傾けて、ストレーナー取付穴から本体給水ホース内の水を抜きます。
- ④ 水抜き後、ストレーナーを確実に取り付けます。
- ⑤ 本体底面にある水抜き栓を反時計回りに 90 度回してゆるめます。
- ⑥ 本体を手前に傾け、水抜き栓を引き出して温水タンクから水を完全に抜きます。



- ⑦ 水抜き完了後、水抜き栓を押し込みながら時計回りに 90 度回して締め付けます。
- ⑧ 本体を便器の上に置き、固定プレートのマ印と本体後下部にある凸部を合わせます。
- ⑨ 本体を奥にスライドさせ、ロックレバーを押し込んで固定します。



参考 3

●脱臭カートリッジは、すでに商品に組み込まれています。